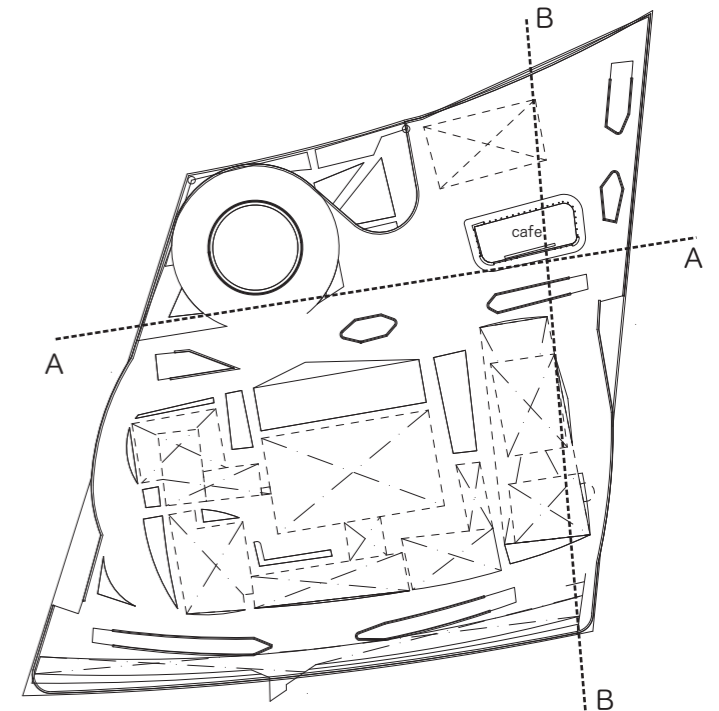
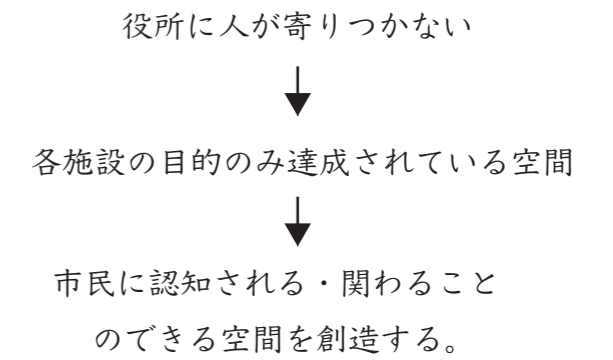


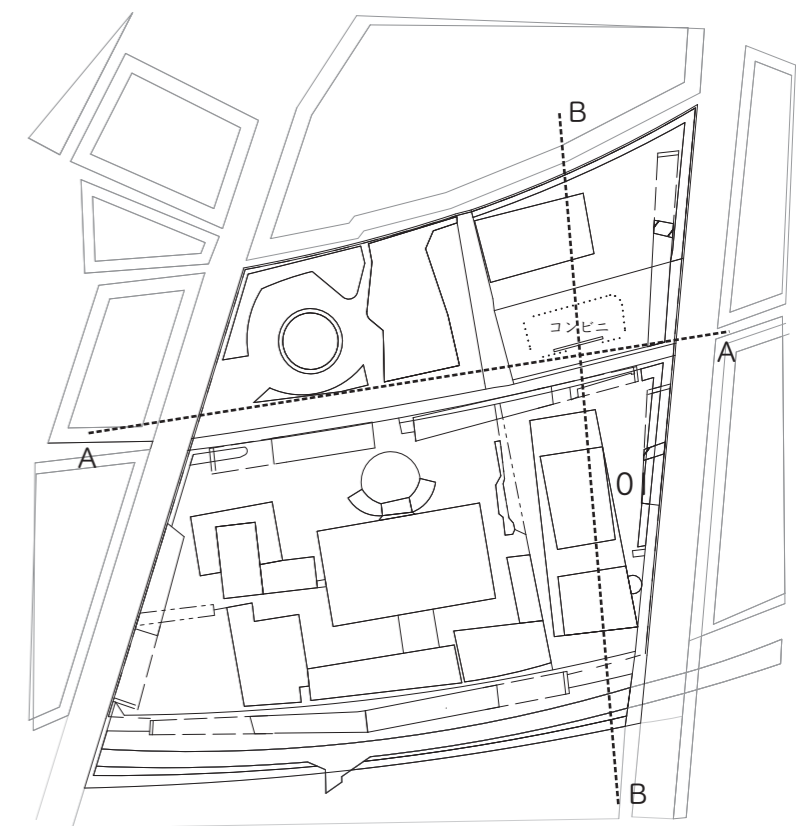
# 町の交差点

富山県における行政地、県庁は、行政施設として多くの人々が利用している。しかし、各行政における仕事の目的の場として空間が構成されており、市民との交わりが軽薄なようにも感じられる。そのため、各施設を一枚のスラブでまとめ、市民の交わりが増える様な大建築空間として再構築した。

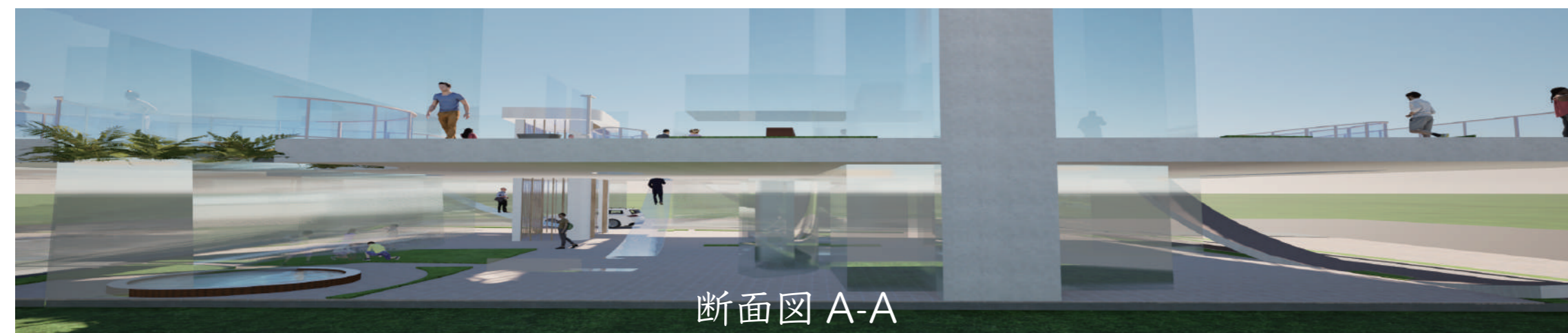
・コンセプトの流れ



2階平面図



1階平面図

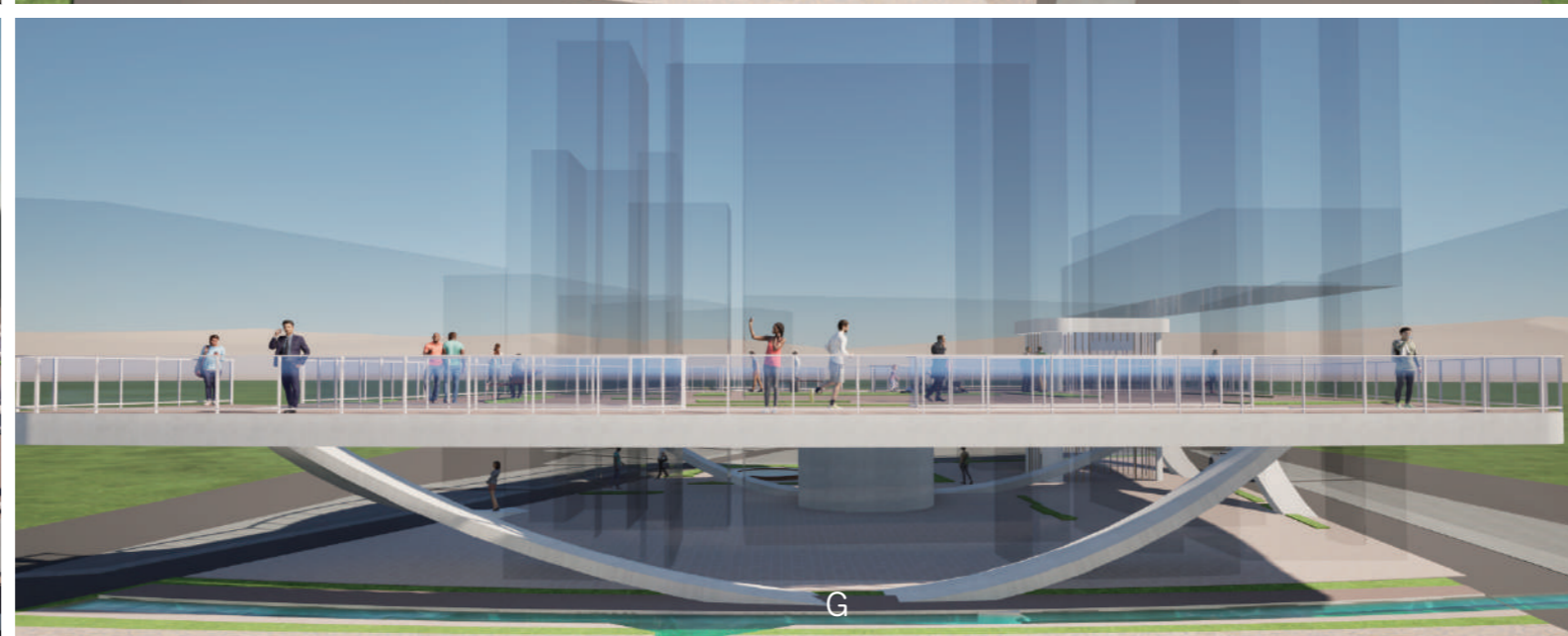
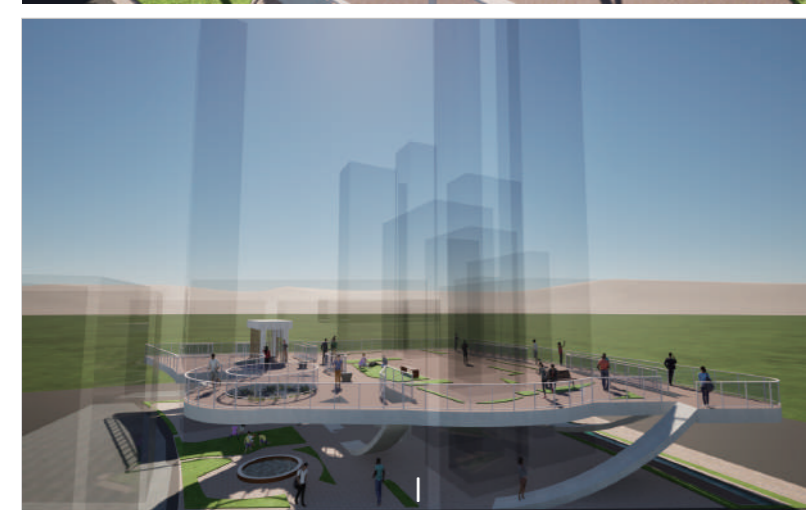
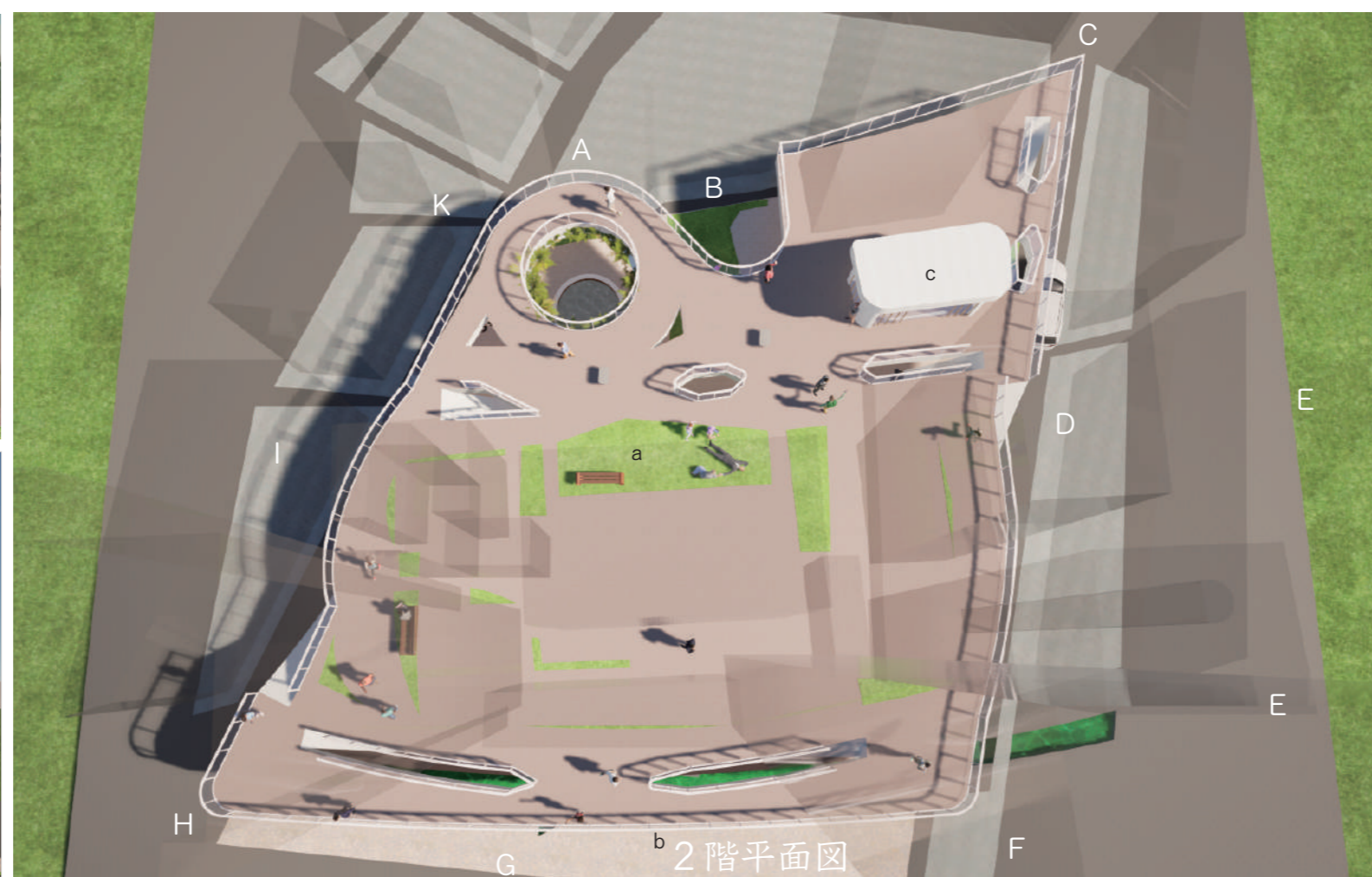
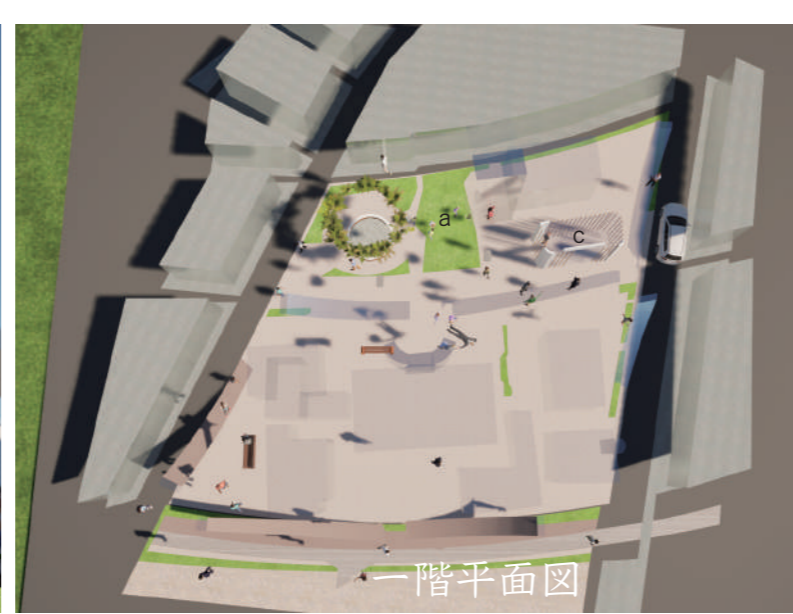
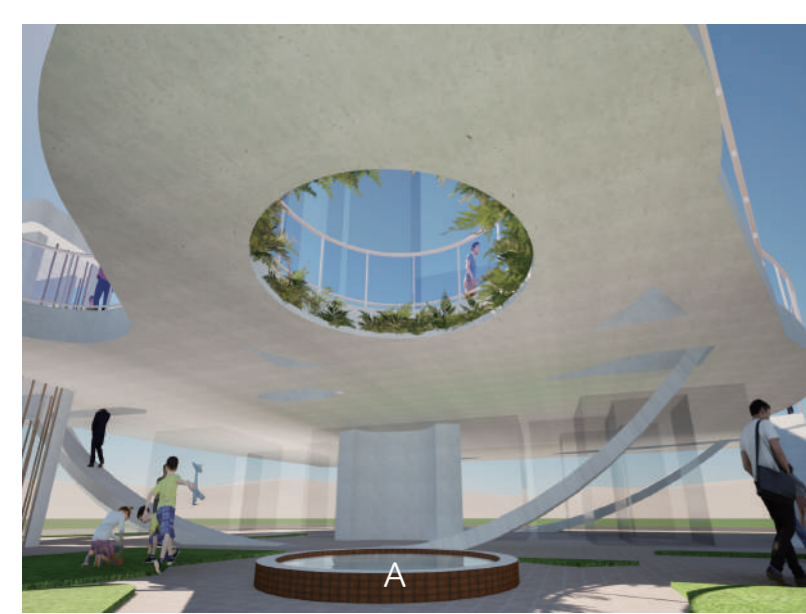


断面図 A-A



断面図 B-B

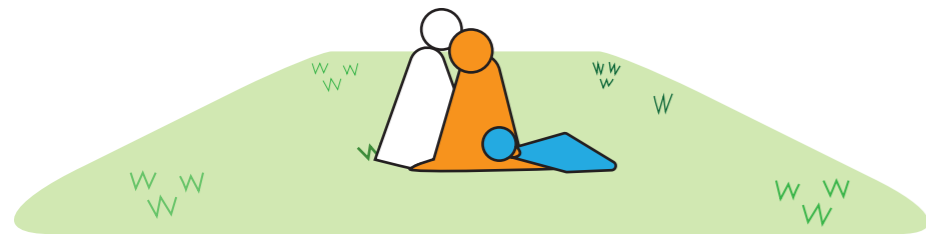






憩いと楽しみ・賑わい・求心力の空間は、県庁周辺エリアの3つの「ありたい姿」に成って行くための空間である。

・憩いと愉み



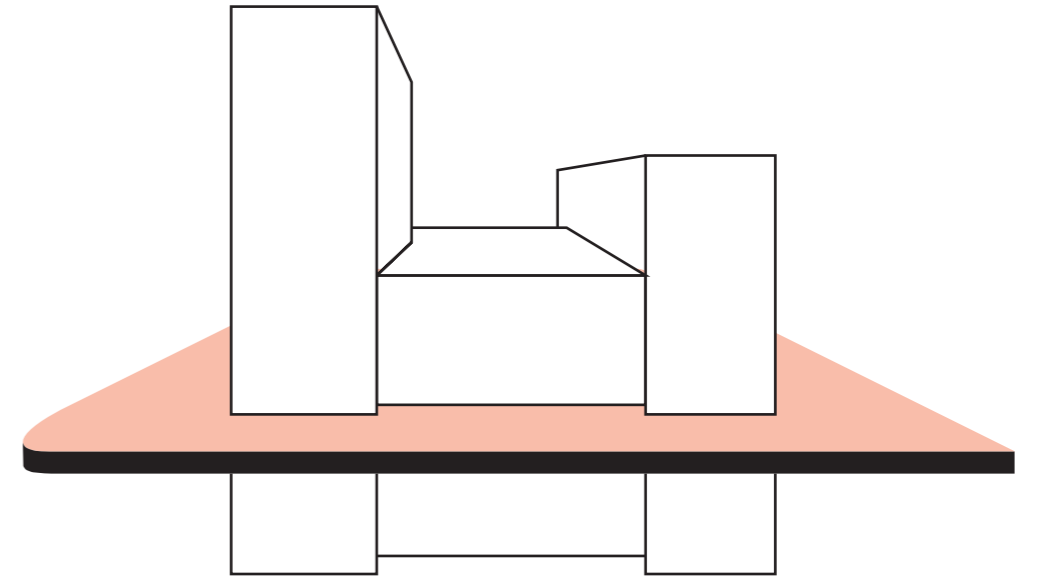
寛ぎの空間 (a)

・賑わい

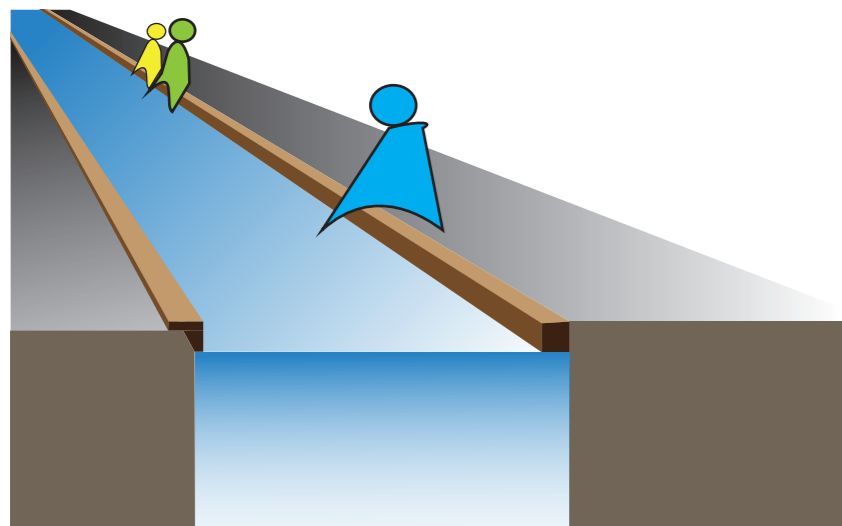


活動的動線

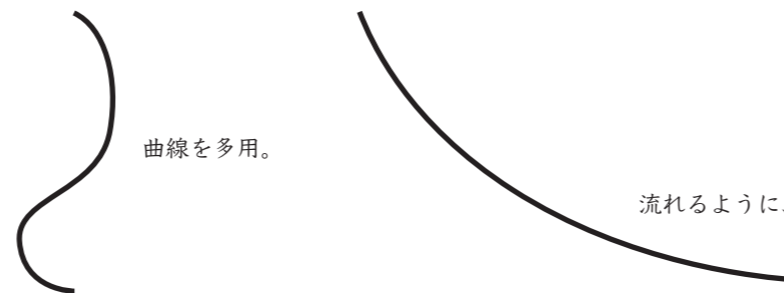
・求心力と発信力



一つの纏りの街化



自然との触れ合い (b)

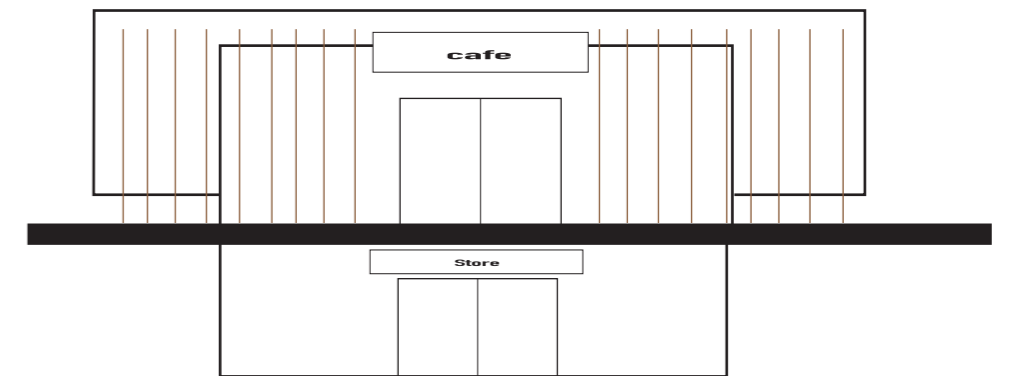


曲線を多用。

流れるように、

ランニング・ウォーキング・犬の散歩等  
市民にとっての活動的関わりを増やす。

軽いドロイング



利便性の高上 (c)